

- 思いやりのある子…規範意識・人権意識・思いやり
- 進んで学ぶ子…自主性・創意・コミュニケーション力
- 責任を果たす子…基本的生活習慣・あいさつ・勤労
- たくましい子…明朗・耐性・自己肯定感

保護者の皆様には、新型コロナウイルス対応で臨時休校となりましたことへのご理解とご協力に深く感謝いたします。また、3月19日(木)には、卒業証書授与式を卒業生・保護者・学校職員で行うことができました。地域の皆様には、6年間温かく見守っていただきましたこと心より御礼申し上げます。

感謝の会を実施しました！！

1月28日には、安全見守りや給食の分野で支援してくださっている方々に「ありがとう」を伝えるために「感謝の会」を実施しました。今回は、交通指導員の亀田様、防犯



亀田様



仁平俊男様



首藤様



仁平幸子様



小柴様

ボランティアの仁平俊男様・首藤様、民生委員児童委員協議会会長の仁平幸子さま、調理員の小柴様に代表でお越しいただきました。お客様より御あいさつをいただいた後、子供たちから手紙と花束の贈呈を行い、全員で歌「ありがとうの花」のプレゼントを行いました。短い時間でしたが、心が通い合う素敵な時間を過ごすことができました。大勢の皆様にお世話になっていることを忘れずにいてほしいと思います。【お客様のお話】

【亀田様】皆さんが気を付けて登校しているので、今年交通事故がなかった。皆さんに感謝しています。

【仁平俊男様】元気が一番。たくさん遊んで元気な体を作ろう。

【首藤様】毎朝登校班と一緒に歩いた帰り道で、隠れ地蔵に(児童の)下校も見守ってくださいとお参りしています。

【仁平幸子様】豊郷北小学区の民生委員は5名います。皆さんをいつも見守っています。自分からあいさつできるようになってきたことが嬉しいです。

【小柴様】たくさん食べてくれてありがとう。これからもたくさん食べてください。

卒業を祝う会を行いました！

2月28日に「卒業を祝う会」を行いました。この会は、児童会の代表委員・運営委員・新リーダーとなる5年生が中心となって企画・運営したものです。縦割り班で一緒に缶積み競争・フラフープ渡しのゲームを楽しんだり、歌を歌ったり、プレゼントを贈呈したり、学年ごとの出し物を行ったりと、工夫と温かみのある会となりました。1～5年生は、学年ごとに準備・練習してきたダンス・歌・呼び掛けなどを行い、感謝の気持ちを伝えました。その一生懸命演技する姿に6年生が拍手や手拍子、笑顔で応えるなど、心のつながりを感じる場面がたくさんありました。終わりに、6年生からお礼の贈り物と歌等の出し物のコーナーもあり、最後のよい思い出づくりをすることができました。

これからは、バトンを受け取った5年生が中心となってよりよい豊北小をつくっていきます。先輩方が築いてきた本校のよりよい伝統を守りつつ、自覚をもって頑張ってくれることを心より願っています。



下級生からのプレゼント



缶積み競争



フラフープ渡し



6年生からのプレゼント



1年生



2年生



6年生の歌のプレゼント



5年生



4年生



3年生

学校保健・給食委員会開催

1月29日(水)、学校薬剤師、PTA会長・副会長・保健体育委員長・各学年委員長、学校職員による学校保健給食委員会を開催しました。学校保健給食委員会とは、児童の心身の実態を知り、保護者・学校医・学校薬剤師・学校職員と一緒に児童の健康生活についてより良くしていこうとする委員会です。委員会では、担当職員から本校の給食・食育指導の取組や児童の体力・健康状況についての説明いたしました。給食委員会児童による「食べ物の中に含まれる砂糖の量調べ」の発表の後、学校薬剤師の鈴木義高様よりお話をいただきました。参加した保護者の皆様から、「学校の熱心な取り組みに感謝している。」「いろいろな方に支えられて学校生活を送っていることが分かった。」「たばこやアルコールについて家庭で説明するのは難しい。学校で学ぶ機会を作ってもらえていることはよいと思う。」等の感想をいただきました。



委員会の様子



給食委員会児童の発表

令和元年度の学校評価について

昨年末に御協力いただいたアンケートの結果と分析を地域協議会評価委員会に報告し、いろいろな御意見をいただきました。その反省を来年度の教育に生かしていきたいと思ひます。

アンケート結果から

○児童・教職員・保護者の肯定的な評価が特に高かったもの（全て90%以上）

- ・教職員は、分かる授業や児童生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。
- ・学校は「小中一貫・地域学校園」の取組を行っている。
- ・学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。
- ・学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。
- ・児童は、友達同士、仲良く元気に遊んでいる。
- ・農業体験活動は、児童にとって楽しく大切な行事である。



○保護者の肯定的評価がH30年度より上がり、市の平均を上回ったもの

- ・児童は、進んで学習に取り組んでいる。
- ・児童は、きまりやマナーを守って生活している。
- ・児童は、時と場に合ったあいさつをしている。
- ・学校は、活気があり明るくいきいきとした雰囲気である。
- ・教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。
- ・学校は「小中一貫・地域学校園」の取組を行っている。
- ・学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。
- ・学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。



○保護者の肯定的評価がH30年度より下がり、市の平均を下回ったものは、ありませんでした。

※本年度は、来年度から完全実施される新学習指導要領に準じた大幅な質問内容の変更がありました。

学校関係者からの評価（意見）

- ・「あいさつ」ができる子が今年は本当に増えた。学校に来ると(児童から)たくさんあいさつをされる。
- ・青パトで回っていると自転車を止めてあいさつしてくれる子、道路の反対側からでも止まってあいさつしてくれる子もいる。「あいさつ」の取組は、前進している。
- ・「教職員はいじめが許されない行為であることを指導している」の肯定的回答が高いのは、学校がいじめについて取り組んでいる証拠である。
- ・「進んで本を読んでいる」では、家読りレー(令和元年度2年生対象に実施)も効果がある。実施学年を増やしてはどうか。
- ・「児童生徒は宇都宮の良さを知っている」については、地域のよさを話し合うことが大切ではないか。



地域協議会

学校では 来年度の取組を考えました。まもなくホームページにアップしますので是非御覧ください。

※2月18・19日に体罰等相談窓口を設置しましたが、相談件数は0件でした。ここに報告させていただきます。